

バス運転手の労働条件・健康チェックを 軽井沢スキーバス事故 — 本村議員 衆院国交委

本村伸子衆院議員は9日、衆院国土交通委員会、今年1月に起きた軽井沢スキーバス事故について、背景にあった安全軽視の規制緩和策を批判し、安全運行のための参入規制と労働規制を強化するよう求めました。

本村氏は、事故を起こした運転手が大型バスの運転に不慣れで非正規雇用だったと指摘。この事実を踏まえ、賃金、契約期間、雇用形態などを実態調査するよう求めたのに対し、藤井直樹自動車局長は「可能なことから行っていた」と答弁しました。



本村氏は、事故を起こした運転手が大型バスの運転に不慣れで非正規雇用だったと指摘。この事実を踏まえ、賃金、契約期間、雇用形態などを実態調査するよう求めたのに対し、藤井直樹自動車局長は「可能なことから行っていた」と答弁しました。

廃棄食品横流しを調査 島津、市田議員

島津幸広衆院議員は、市田忠義参院議員・副委員長とともに、カレーチェーン「COCO壱番屋」の廃棄されるべき冷凍ビーフカツが不正に転売されていた問題で、4日、愛知県稲沢市の産廃処理業者・ダイコーを視察、同社と転売したみのりフーズがある愛知県と岐阜県、また、東海農政局、環境省中部地方環境事務所から聞き取りをおこないました。



島津幸広衆院議員は、市田忠義参院議員・副委員長とともに、カレーチェーン「COCO壱番屋」の廃棄されるべき冷凍ビーフカツが不正に転売されていた問題で、4日、愛知県稲沢市の産廃処理業者・ダイコーを視察、同社と転売したみのりフーズがある愛知県と岐阜県、また、東海農政局、環境省中部地方環境事務所から聞き取りをおこないました。

ら、その調査を行っていないことは大問題だと述べ、バス運転手は安全運行の要だと指摘したうえで、過労運転を防止し、安全運行ができる担保についてただしました。これに対し、藤井自動車局長は「改善基準告示(*)を守ることも含まれる」と答えるにとどまりました。

*バス運転手の労働条件の改善を図るための労働大臣告示「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」のこと
さらに、本村氏は、長野地裁で過労死を認める判決が下された別の観光バス運転手の事例を取り上げ、「改善基準告示違反のオンパレードだ」と実態を告発。同裁判で国が控訴したことを厳しく批判

合や検査員の削減などで監視が行き届かないことも率直に語られ、国に対し、廃棄物の処理を確認する「マニフェスト」の改善とともに、人員増への財政支援の要望もありました。

この問題では市田参院議員が10日、国会で質問しました。録画はこちらから、10日の環境委員会を選択してください。
<http://www.webtv.sangin.go.jp/webtv/index.php>

核兵器の非人道性を訴え、核兵器廃絶を 井上議員

井上哲士参院議員は10日、参院外交防衛委員会で質疑を行い、核兵器廃絶について岸田外相をただしました。

核兵器の非人道性を告発し、核兵器禁止条約制定への交渉開始を求める国際的な流れが広がるなかで、日本政府はこの間、「核廃絶のために核保有国の協力が必要。保有国と非保有国の橋渡し役を果たす」として双方が賛成する決議を国連総会に提案してきました。ところが、昨年提案した日本の決議

し、一刻も早く過労死と認め、ご遺族を安心させるべきと迫りました。これに対し、石井啓一国土交通相は「改善基準告示が守られていない事例」との認識を示しました。

また、本村氏は、睡眠不全についても、「寝てないなら、乗るな、乗せるな」と厳しく対応すべきと指摘し、改善基準告示に、睡眠時間の確保を盛り込むなどの改善と法制化の検討を求めました。事業者が安全を確保できるかを審査するなど、参入規制、事前チェックのあり方について、石井国交相は「検討委員会で総合的に検討を行う」と答えました。

静岡・磐田市の集会で島津議員



島津幸広衆院議員は5日、静岡県磐田市の「戦争法廃止市民集会・平和行進」に参加し、あいさつしました。集会は、野沢正利・党元市議、寺田伊勢男・社民党元県議が呼びかけ、市民連帯や各団体の垣根を越えて開かれました。島津議員は、核兵器の非人道性を訴え、核兵器の禁止・廃絶を核兵器国に迫ることができるとのべ、被爆国にふさわしい外交に転換するよう強く求めました。

案に「非人道性」に関わる文言があったために、これまで賛成してきた米英仏口は棄権に回りました。井上氏は、『橋渡し』といいながら、核兵器禁止を求める国際的な流れの妨害をしている」と批判。「本来、被爆国日本の政府は最も核兵器の非人道性を訴え、核兵器の禁止・廃絶を核兵器国に迫ることができるとのべ、被爆国にふさわしい外交に転換するよう強く求めました。